

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 1 組～6 組 各前半クラス： 後半クラス：

使用教科書：（東京書籍「家庭総合 自立・共生・創造」）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な科学的理解を得て、それらに係る技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を見出し、解決策を考え、考察したことを表現するなど解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を目指す実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第4章 衣生活をつくる ・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえで被服の役割を理解する。	被服の役割 被服の起源 TPO ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組む、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2
	・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。	被服の入手 被服と表示 被服の材料 被服材料の性能 被服の手入れ 洗剤と漂白剤の働き 仕上げと保管 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】・被服材料について科学的に理解している。 健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考・判断・表現】・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた衣服の選択と管理について問題を見いだして、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組む、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	第7章 衣生活をつくる 被服製作の基本の確認	基礎縫い練習 ＜教材＞教科書・資料集・練習布・裁縫道具など	【知識・技能】衣生活の自立に必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】主体的に衣生活を営むことができるように自らの課題を表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】衣生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりしようとしている。	○	○	○	2
	定期考査 1学期の振り返り			○	○		2
1 学 期	第6章 食生活をつくる ・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	食生活の課題 栄養と栄養素 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について科学的に理解している。 【思考・判断・表現】・食事について問題を見いだして、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・生活文化を継承し、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。	食品の選択 食品の衛生と安全 調理の基礎 食生活の文化 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集 調理実習教材	【知識・技能】・食品衛生について科学的に理解している。 ・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 ・日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】・食事について問題を見いだして、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・生活文化を継承し、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	第7章 衣生活をつくる	基礎縫い練習	【知識・技能】衣生活の自立に必要な技能を				

